

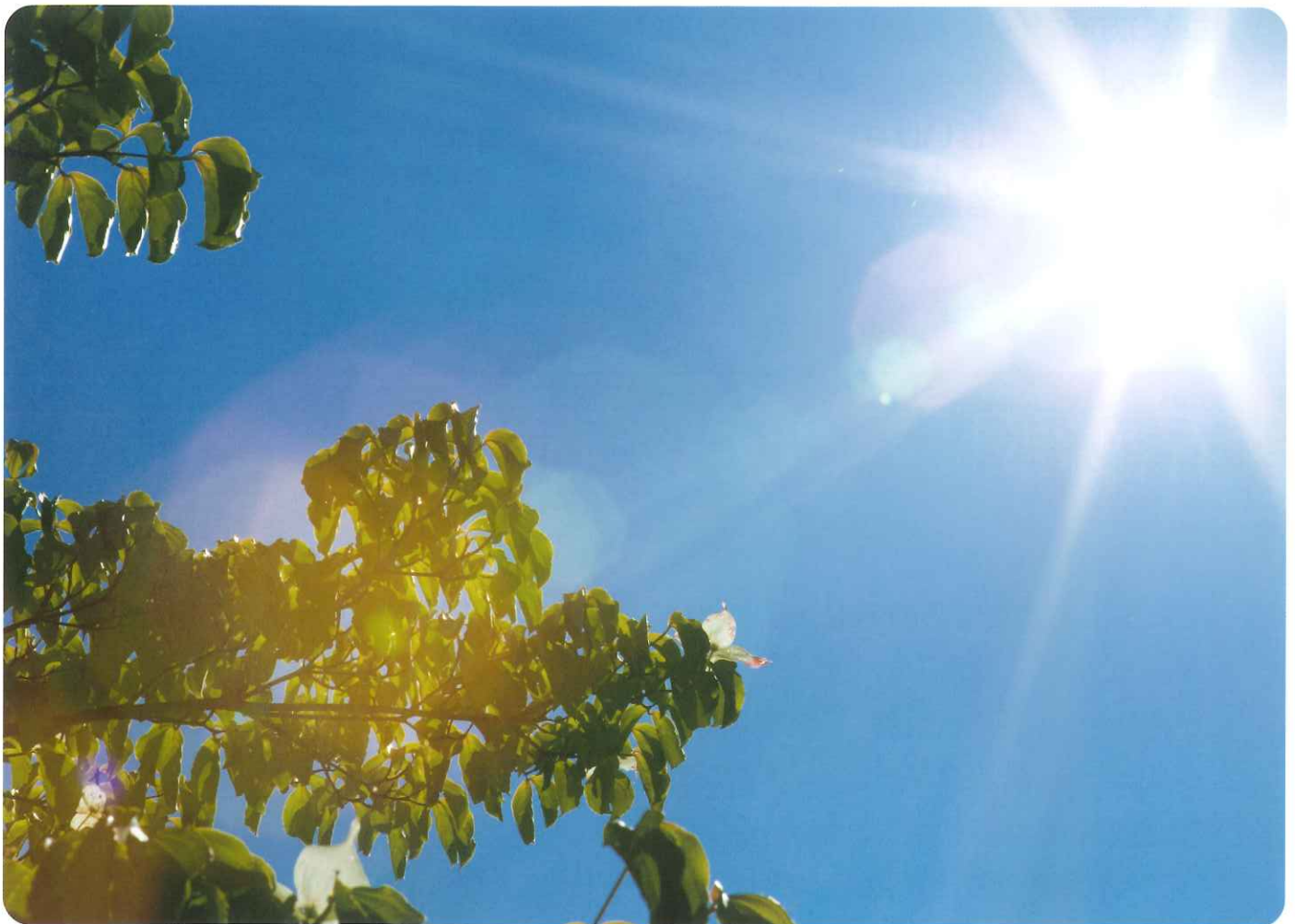


海風

UMIKAZE

Vol. **17**

Chiba-Minato Rehabilitation Hospital Report



Contents

- 2P 院長・看護部長コメント
- 3P 統計データ
- 4・5P スタッフ紹介
- 6・7P 院内行事

2020

院長のお話

山田規畝子さんの「壊れた脳も学習する」に、意外なことが書いてあった。著者はモヤモヤ病で脳出血に見舞われた整形外科医だが、患者の目で「高次脳機能障害」を語る。そこに、左半側空間無視の患者に左側からアプローチするのは「不快だ」とある。それが意外なのは高次脳機能障害に携わるリハビリ従事者にとって、左半側空間無視は「右側への注意過剰」なので、左側から声掛けしたりする「注意の方向づけ」は常識のようにになっているからだ。山田さんは「右側で完結しているものを、なぜわざわざ左側に向けなければいけないのか、それが不快だ」と言う。私たちの「思い込み」はまだ多いのだ。



片山 薫 院長

看護部長のご挨拶

令和になって初めての新年度を迎え早いもので半年が経ちました。今年はCOVID-19感染拡大防止のため、例年とは違った形でのスタートとなりましたが、看護部も新卒看護師・看護補助者を含む15名が新たに入職し、今では千葉みなとリハビリテーション病院の一員として看護・介護にあたっております。さて、当院もおかげさまで開院7年目となりました。14年前、「巨樹の会」が初めて関東に根を下ろしたのは同じ千葉県の八千代です。60床でスタートした八千代リハビリテーション病院も本年7月1日から240床となり、当院、松戸リハビリテーション病院と千葉3病院併せて600床(10倍)へと成長いたしました。これからも、それぞれの地域でリハビリテーションを必要とする患者様のお役に立てるよう努力してまいりますので変わらぬご指導ご支援の程お願いいたします。

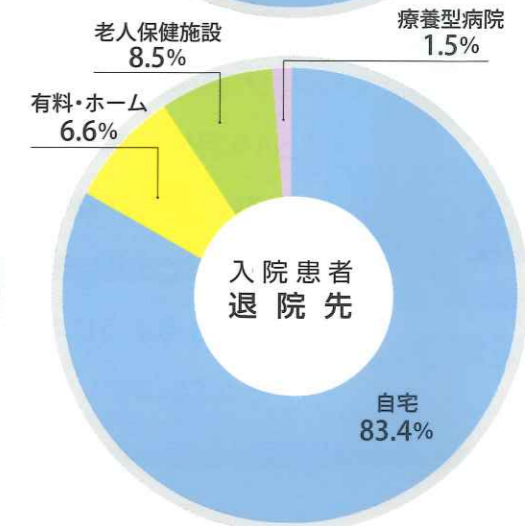
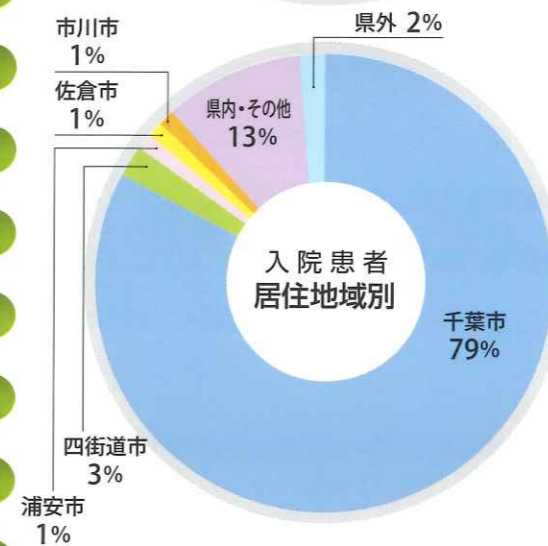
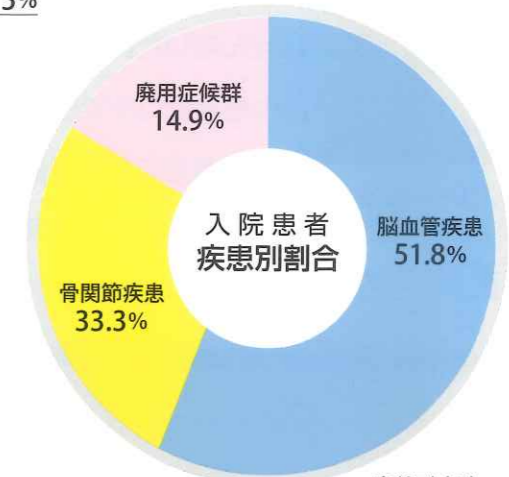
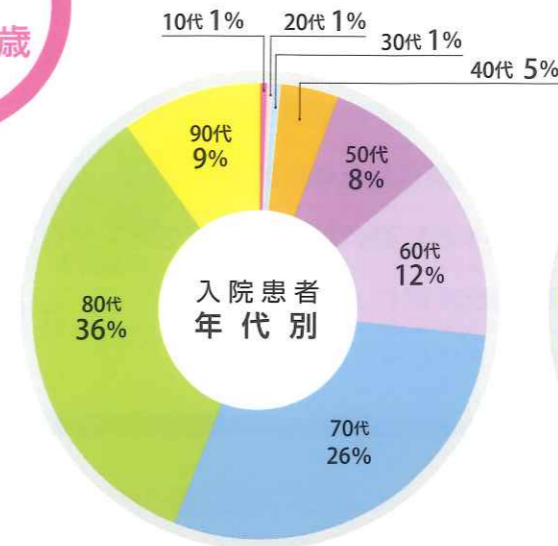


田中 且子 看護部長

入院統計データ

平成31年4月～令和2年3月 患者数786(再入院除く)

平均年齢
73.9歳



患者1人あたりリハビリ提供数	平均入院日数	新規入院患者の重症度割合	平均入院日数
8.5 単位	81.2日	41.6%	76.5%
日常生活自立度(FIM)	入院時平均	退院時平均	利得平均(回復度)
	56.6	85.2	28.6

在宅復帰率
91.6%
※急性期への転院除く



はじめまして！

新人スタッフの紹介



リハビリテーション科
理学療法士

武井さん

笑顔と活気で溢れる病院で、働けることを大変うれしく思います。患者様に向き合うことの緊張感や不安に、最初は動揺を隠せませんでした。しかし、そのプレッシャーに比例してやりがいや責任感を自分の中で感じ、毎日充実した日々を送っています。先輩達の背中をがむしゃらに追いかけて、一日でも早く肩を並べて働けるよう精一杯頑張ります！



2階病棟 看護師

菊嶋さん

国家試験を終え、4月から看護師として千葉みなとリハビリテーション病院で働いています。1年目に回復期病院で働くことに少し不安がありました。しかし看護師の先輩が優しく丁寧に教えて下さり、毎日楽しく仕事することができています。患者様の入院生活のなかで、リハビリを通してできるようになったことを一緒に喜べる看護師になりたいと思っています。



リハビリテーション科
作業療法士

井村さん

この4月から、千葉みなとリハビリテーション病院に入職することができ、大変嬉しく思います。入職してから3カ月たち、職場の環境にもなれ先輩方から業務や技術面、多職種との携わり方を学んでいます。覚える事も多く大変なこともありますが、少しでも早く患者様一人一人に合わせたリハビリが提供できるよう日々精進していきたいと思っています。



3階病棟 看護師

中村さん

4月から看護師として働き始め、初めは新しい環境に慣れることに精一杯の毎日でした。ですが、日々患者様と接する中で「ありがとう」の言葉や手を握ってくださるなどの触れ合いがあり、やりがいを感じました。自分の目で見て触れて、患者様の抱える不安や悩みは傾聴しアセスメント力を身に付けていきたいです。また、コミュニケーションを図り患者様との信頼関係を築き安心感を与えることのできる看護師になりたいです。



リハビリテーション科
理学療法士

中澤さん

私が、理学療法と出会ったのは高校生の頃です。部活動の際に怪我をして運動をすることが難しく、落ち込んでいるときに理学療法士と出会いました。その際に怪我のフォローと気持ちのケアをして頂きました。その感謝の気持ちが忘れられず、将来は患者様から感謝され、人の為に働ける理学療法士になりたいと思います。



4階病棟 看護師

伊勢さん

看護学校を卒業後4月から千葉みなとリハビリテーション病院に入職することができ、嬉しく思います。私は、患者様がよりよい状態で退院できるように患者様と家族に寄り添った看護を提供していきたいです。まだ知識も技術も未熟ですが、多職種とも協力できるよう精一杯頑張るので、宜しくお願い致します。

1

デザートワゴン

今回で5回目となるデザートワゴンを実施しました。メニューはチョコレートムース、なめらかプリンとブラマンジェ、3層コーヒーゼリー、お汁粉の4品を提供させていただきました。特に人気だったのはお餅風ムースを使ったお汁粉でした。「久しぶりにお餅食べたよ」とご好評を頂くことが出来ました。次回も患者様の楽しみになるようなデザートイベントに出来るよう頑張ります。

栄養科 小松 樹



2

園芸活動

6月に夏野菜と花を患者様と一緒に植えました。今年はナス、トマト、ピーマン、キュウリ、ひまわり、朝顔です。実際に土に触れ、苗の植え替えをして頂きました。患者様からは「入院する前は自宅で野菜を育てていたから、懐かしい!」「お花が鮮やかで元気をもらえました♪」と楽しまれていました。現在、リハガーデンには既にナスやトマトが実り始めてます。今後は朝と夕方に園芸係と患者様と一緒に、水やりなどをしていく予定です♪

リハビリテーション科 クラーク 仲山 ひとみ



自分らしく
イキイキ!

楽しい行事をレポート!!

to smile!

3

七夕活動

当院では七夕にむけて、患者様に短冊にお願い事を書いてもらっています。

「早く歩けるようになりたい!」「ゴルフをやりたい」「外で遊びたい」など様々なお願い事が短冊に書かれました。笹に短冊と七夕飾りを飾り、エントランスとリハビリ室に飾りました。皆さんのお願い事が少しでも叶いますようにお祈りしました。

リハビリテーション科 植村 綾子



4

離床活動

デイルームにて離床活動の一環であるレクリエーションを行いました。季節工作としてあさがお作りに決まり準備が始まりました。玉子パックの中に様々な色の絵の具を入れてコーヒーフィルターに少しずつその色を染み込ませ着色していきます。全部染めずに少し白い所を残す事でよりあさがおらしくなりました。紙の特質により色の強弱も自然なものとなり、染めていく間も「きれいな」と声があがり、楽しい時間となりました。

看護部 古川 茂子





一般社団法人 巨樹の会

八千代リハビリテーション病院

令和 2年7月 新病棟 OPEN

180床
240床

新風 UMIKAZE

Vol. 17

2020



先進的ロボット技術を用いた
手・指のリハビリ機器も導入!!



随時入院相談受け付けております。

お問合せ先: 医療連携室 杉山・高岡・建山

TEL 047-488-1655 (直通) FAX 047-488-1656 (直通)

ホームページのご案内

病院の詳細な内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。
グループ病院ホームページにもリンクできます。

千葉みなとリハビリテーション病院 検索

<http://minato-reha.com/>



千葉みなとリハビリテーション病院 広報誌

海 UMIKAZE 風 Vol. 17

令和2年8月発行

企画発行所 千葉みなとリハビリテーション病院 広報委員会

千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号
TEL : 043-245-1555 / FAX : 043-245-1558



駐車場に限りがございますので公共交通機関のご利用をお願いします。

電車 千葉みなと駅(JR京葉線・千葉都市モノレール)より徒歩10分

バス 千葉駅西口・千葉ポートタワー行26番のりば「県立美術館入口下車」

企画・発行所：一般社団法人巨樹の会 千葉みなとリハビリテーション病院 広報委員会